

1 次の問い(1)～(8)に答えよ。(16点)

(1) $6 - 2 \times (-5^2)$ を計算せよ。 答の番号【1】

(2) $\frac{2}{3}(6x + 3y) - \frac{1}{4}(8x - 2y)$ を計算せよ。 答の番号【2】

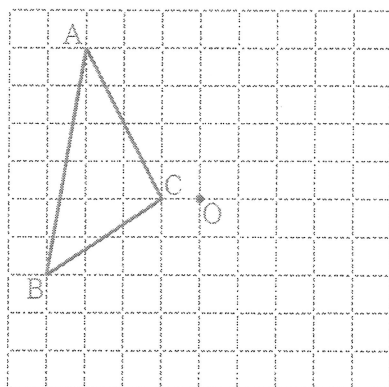
(3) $\sqrt{32} - \frac{16}{\sqrt{2}} + \sqrt{18}$ を計算せよ。 答の番号【3】

(4) $x = 7, y = -6$ のとき、 $(x - y)^2 - 10(x - y) + 25$ の値を求めよ。 答の番号【4】

(5) 2次方程式 $8x^2 = 22x$ を解け。 答の番号【5】

(6) y は x の2乗に比例し、 $x = 3$ のとき $y = -54$ である。このとき、 y を x の式で表せ。 答の番号【6】

(7) 右の図のように、方眼紙上に $\triangle ABC$ と点 O があり、4点 A, B, C, O は方眼紙の縦線と横線の交点上にある。 $\triangle ABC$ を、点 O を回転の中心として、時計回りに 270° だけ回転移動させた図形を、答案用紙の方眼紙上にかけ。 答の番号【7】



(8) 赤玉が2個、白玉が2個、黒玉が1個の合計5個の玉が入っている袋がある。この袋から玉を1個取り出し、取り出した玉を袋にもどさずに、玉をもう1個取り出す。このとき、取り出した2個の玉の色が異なる確率を求めよ。ただし、袋に入っているどの玉が取り出されることも同様に確からしいものとする。 ... 答の番号【8】

【裏へつづく】

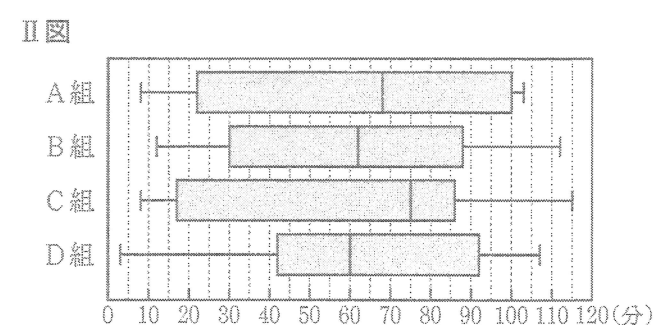
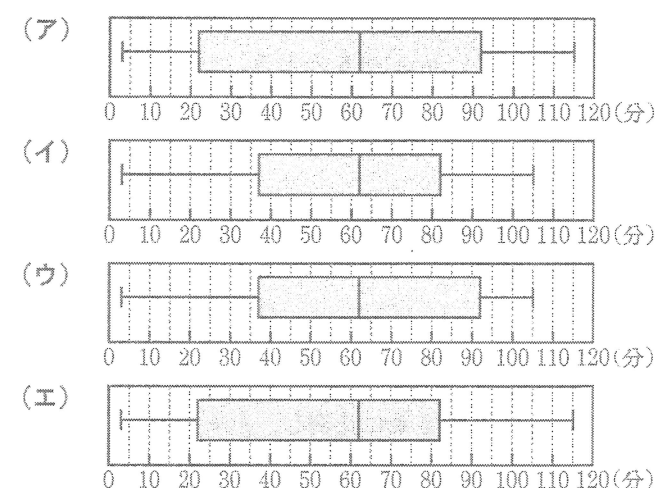
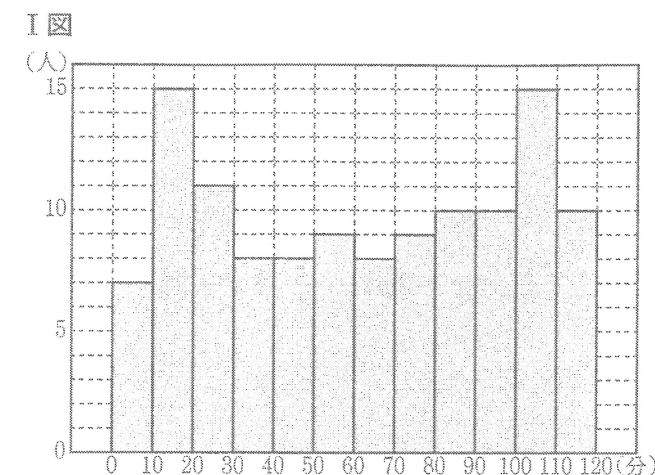
2 ある中学校の2年生は、A組、B組、C組、D組の4学級で編制されており、各学級の人数は30人である。この中学校では、家庭でのタブレット端末を活用した学習時間を調査しており、その結果から得られた学習時間のデータをさまざまな方法で分析している。右のI図は、2年生の120人全員のある日の学習時間を調査した結果を、ヒストグラムに表したものである。たとえば、I図から、2年生の120人のうち、学習時間が0分以上10分未満の生徒は7人いることがわかる。

このとき、次の問い(1)・(2)に答えよ。(4点)

(1) I図において、学習時間が30分以上90分未満の生徒は何人いるか求めよ。また、右の(ア)～(エ)の箱ひげ図のいずれかは、I図のヒストグラムに対応している。I図のヒストグラムに対応している箱ひげ図を、(ア)～(エ)から1つ選べ。

..... 答の番号【9】

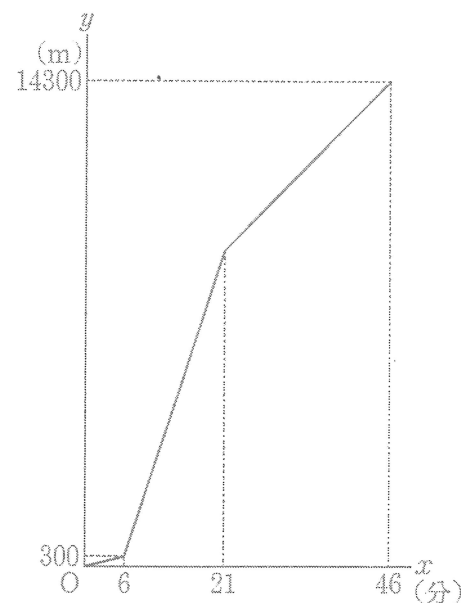
(2) 右のII図は、I図のもととなった学習時間の調査結果を、学級ごとに箱ひげ図に表したものである。II図から必ずいえるものを、次の(ア)～(オ)から2つ選べ。 答の番号【10】



- (ア) A組は、学習時間が60分以上70分未満の生徒が1人以上いる。
 (イ) B組は、学習時間が80分以上の生徒が8人以上いる。
 (ウ) C組は、学習時間が115分の生徒が1人だけいる。
 (エ) 4学級のうち、D組は、学習時間が0分以上40分未満の生徒の人数が最も多い。
 (オ) 4学級のうち、学習時間のデータの四分位範囲が最も大きい学級は、学習時間のデータの範囲が最も小さい。

- 3 AさんとBさんは、水泳、自転車、長距離走の3種目を、この順に連続して行うトライアスロンの大会に参加した。スタート地点から地点Pまでが水泳、地点Pから地点Qまでが自転車、地点Qからゴール地点までが長距離走で、スタート地点からゴール地点までの道のりは14300 mであった。

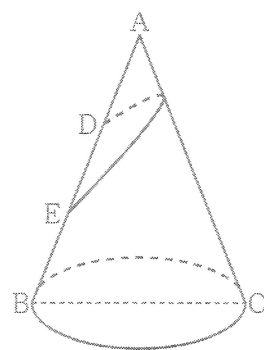
AさんとBさんは同時にスタートし、どちらも同じ速さで泳ぎ、6分後に地点Pに到着した。地点Pから地点Qまで、Aさんは分速600 m、Bさんは分速500 mでそれぞれ走り、AさんはBさんより早く地点Qに到着した。Aさんは、地点Qからゴール地点まで走っている途中で、Bさんに追いつかれ、その後、Bさんより遅れてゴールした。地点Qからゴール地点までにおいて、Aさんが走る速さは、Bさんが走る速さの $\frac{4}{5}$ 倍であった。右の図は、Aさんがスタートしてから x 分後の、Aさんがスタート地点から進んだ道のりを y mとして、 x と y の関係をグラフに表したものである。ただし、Aさん、Bさんともに、各種目で進む速さはそれぞれ一定であり、種目の切り替えにかかる時間は考えないものとする。



このとき、次の問い(1)・(2)に答えよ。(5点)

- (1) 地点Pから地点Qまでの道のりは何 m か求めよ。また、 $21 \leq x \leq 46$ のときの y を x の式で表せ。
.....答の番号【11】
- (2) 地点Qからゴール地点までにおいて、Aさんが走っている途中で、Bさんに追いつかれたときの、Aさんがスタート地点から進んだ道のりは何 m か求めよ。
.....答の番号【12】

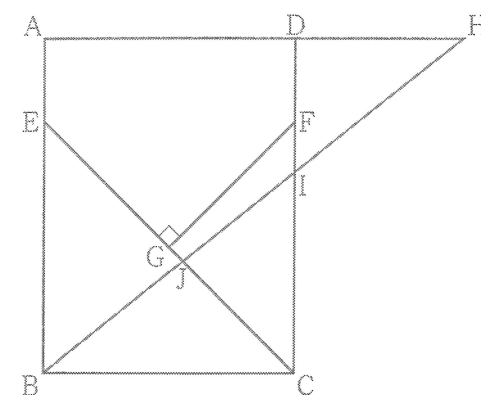
- 4 右の図のような、頂点をA、線分BCを直径とする円を底面とする円錐^{すい}があり、高さは $4\sqrt{6}$ cm、 $AB:BC=3:2$ である。線分ABを3等分する点を点Aに近い方から順にD、Eとする。また、この円錐の側面に、点Eから線分ACを通り、点Dまで、ひもをゆるまないようにかける。



このとき、次の問い(1)・(2)に答えよ。(4点)

- (1) この円錐の底面の半径を求めよ。また、線分AEの長さを求めよ。
.....答の番号【13】
- (2) かけたひもの長さが最短となるときの、ひもの長さを求めよ。ただし、ひもの太さは考えないものとする。
.....答の番号【14】

- 5 右の図のような、 $AB=8$ cm、 $AD=6$ cmの長方形ABCDがある。点Eを、辺AB上に $AE=2$ cmとなるようにとり、線分CEの垂直二等分線と辺CD、線分CEとの交点をそれぞれF、Gとする。また、 $DH=4$ cmとなるような点Hを、辺ADを延長した直線上にとり、2点B、Hを通る直線と辺CD、線分CEとの交点をそれぞれI、Jとする。



このとき、次の問い(1)~(3)に答えよ。(6点)

- (1) $\triangle CFG$ の面積を求めよ。.....答の番号【15】
- (2) 線分CIの長さを求めよ。.....答の番号【16】
- (3) 四角形FGJIの面積を求めよ。.....答の番号【17】

- 6 円の周上に、 n 個の点をそれぞれ異なる位置にとり、これらのすべての点を互いに結ぶ線分をひき、弦の本数を考える。

次の表は、 $n=2, 3, 4$ のときの、図と弦の本数をまとめたものである。

	$n=2$	$n=3$	$n=4$
図			
弦の本数(本)	1	3	6

このとき、次の問い(1)~(3)に答えよ。ただし、 n は2以上の自然数とする。(5点)

- (1) $n=5$ のとき、弦の本数を求めよ。.....答の番号【18】
- (2) $n=41$ のとき、弦の本数を求めよ。.....答の番号【19】
- (3) 弦の本数が1953本であるときの n の値を求めよ。.....答の番号【20】